

# “鮮度一番！”

No.188

～女性と男性が支え合う社会をつくる～

CONTENTS

- 1 / “ワイワイ女性ひろば”更新のお知らせ
- 2～3 / ひとつことコラム 運営委員会で話されたこと
- 3～4 / お二人から原稿が届きました
- 5 / 三条活人「詩吟教室」
- 6 / 会員&投稿募集のご案内 編集後記

## 燕三条エフエム放送“ワイワイ女性ひろば”(平成26年度分)更新しました！

今年の4月～9月まで放送した“ワイワイ女性ひろば”、当会のホームページで更新が完了しました。どうぞお聴きください。

### 4月「市島教授のコミュニケーション講座」

- ①言葉の役割 ②察しに期待はNG ③沈黙は金か ④出る杭になろう

### 5月「コミュニケーション講座自主学习」

- ①日本語ウォッチング ②対話力 ③言葉の脱・男目線 ④上手なほめ言葉

### 6月「市島教授のコミュニケーション講座」

- ①伝わらないアナウンス ②コミュニケーション・ウチとソト
- ③ネット上のコミュニケーション ④家族間のコミュニケーション

### 7月「三条の未来予想図」

- ①市町村存続危機の時代 ②三条市の観光戦略 ③にぎわい復活大作戦
- ④市民の底力 ⑤三条の未来予想図

### 8月「防災コミュニケーション」

- ①7.13から学ぶもの ②危機情報をキャッチしよう
- ③危機管理意識を高めよう ④三条防災ステーション

### 9月「市島教授のコミュニケーション講座」

- ①ネットコミュニケーション ②コミュニケーション教育
- ③コミュニケーション教育 ④生身のコミュニケーション



川瀬 弓子

「翻訳業」という仕事に興味を持ち始めた。

きっかけは「ハリーポッターシリーズ」と訳者の松岡佑子さんのことである。

が、この度このコラム欄でご紹介したいのは「花子とアン」の村岡花子さんのことである。

平易な文章は、ひらがなの中にキラキラ輝く漢字がちりばめられていた風で、熱烈な「赤毛のアン」ファンである私は「村岡花子訳」でなければダメであった。子どもであったから、なぜダメなのか考えたこともなかったが、この際調べてみた。

村岡さんは、10才から20才までの多感な10年間を勉学から衣食住生活全てを富裕層の集まるカナダ系ミッションスクールの寄宿舎で過ごしている。聖書はもとより英米文学作品にどっぷりつかっていた。また、かの柳原白蓮の紹介で佐々木信綱に師事、和歌を学び熱心に作歌に励んでいた。

得意の英語を活かし、産児制限運動のマーガレット・サンガー氏、ヘレン・ケラー氏の通訳もされ、社会運動にも熱心であった。夭折した愛息の名前を冠した「道雄文庫」は家庭文庫の走りであり青少年の家庭教育にも積極的に取り組んだ。

「翻訳」について村岡さんは「～略～文章が美しいと言ってくれた人がいくたりかあった～略～私は何とも言いようのない変な気持ちだった～略～文章がすぐれていれば、それは原著者の文がすぐれていたの～略～原書の文脈や感情をよく伝えているという賛辞ならうれしいが～略～」と謙虚に述べておられるがとんでもない。実はそうではないことが「ハリー」や「アン」に出会ってわかった。翻訳者の人柄生き方そのものが問われ、かつ原書と訳者の出逢いは千載一遇の一大事業であるということが。

## 運営委員会で話し合われたこと

日 時 平成26年11月5日(水) (AM9:30~11:30)

場 所 田辺とも子さん宅

先日、娘が結婚しました。偉い人が、親とは最初から親であるのではなく、巣立ったときに感謝されて、初めて親になれるのだと聞いていたので、少しほっとしました。

今回は、師走12月3日(水)9:30~男女共同参画センターです。どなたでもおいでください。

1.

**参加報告** 参芸術の秋、ソロプチミスト菫主催コンサートの感想です。

### 大きな楽器のコンサート

住谷幸子

1年ぶり、国際ソロプチミストのチャリティーコンサートを鑑賞しました。毎年必ず寄せてもらっていますので、今年も期待して参加しました。

地元出身の演奏者で楽しみにしていましたが、あまり馴染みのない、コントラバス、ハープという楽器で、今回参加されている方々も、皆さんそう思われたと感じましたが…すごく親しみやすく鑑賞できました。お二人のトークもさることながら、曲の解説をやさしくしてくださり、馴染みの曲も多くあり、飽きることなく最後までしっかり楽しめたコンサートだったと思います。

佐野央子さん(東京都交響集団奏者)のコントラバスが6本の弦でも奏でられるとは～。山崎祐介さん(日本ハープ協会副会長)のハープはやさしく紹介され、ペダルがたくさんあって、改めて難しい楽器だと思いました。

最後に、きれいなソプラノで佐野さんから“からたちの花”を唱っていただき、アンコールが終わりました。

2.

## 防災研修会、懇親会&ワイ女打ち上げ&忘年会について

11月22日(土)開催の上記の会への出席者の確認を行いました。一年を締めくくり、三条女性会議らしく「よくしゃべり」「よく食べ」「よく飲み」ましょう(^ ^) /

3.

## 20周年記念事業について

上記、記念事業について話し合いました。

“ワイワイ女性ひろば”へ、今までお呼びしてこなかった人に出演を願うという案を考えているとの話がありました。ムフフ、はて、それは誰でしょうか？

しかしまだまだ、模索中ですので、皆様のご意見をどしどしお寄せくださいますようお願い致します！

### 【お二人から原稿が届きました。】

新潟市大畑少年センター所長 梅津玲子

「されば、時分の花をまことの花と知る心が、真実の花になお遠ざかる心なり。ただ、人ごとに、この時分の花に迷いて、やがて花の失するをも知らず。初心と申すはこのころの事なり。」 (世阿弥 『風姿花伝』)

さて、「まことの花」とは……。還暦を過ぎ一年、果たして私は、「まことの花」を咲かすつぼみをつくってきたのでしょうか。

子育てに必死でしたが仕事に体当たりしていた二・三十代。子どもたちと笑ったり、泣いたり、毎日が感動の日々でした。生涯学習を勉強してたくさんの人と出会った四十代。『女性リーダー研修』『女性国内研修』でのよき出会い、田辺とも子さんとも出会うことができました。行政、管理職、悩み多き充実の五十代。しなやかさよりしたたかさが身に付き……。気付いてみれば、すっかり体力も落ち、手も顔もしわだらけです。アンチエイジングなるサプリメントや化粧品の宣伝を目にすると、ついつい飛びつきたくなるのは仕方がないのでしょうか。

でも、結局、ありのままの自分を受け入れ、年齢相応の納得のいく生き方をしていきたいと思うようになりました。老いが容姿や体力を奪い「時分の花」を奪っていても、努力を続けて「まことの花」を咲かせること。世阿弥は新しい知恵や知識や技能を得る努力や試練を「初心」と呼び、「初心忘るべからず」と教えてくれています。つまり、一生前向きに努力し続けなさいということです。ですから、初心を忘れない生き方、賢いスマート・エイジングな生き方を貫いていきたいと思っています。自分を叱咤激励しながら……。

三条市で勤務させてもらってから十年以上が過ぎてしまいました。ブルーな私を支えてくださった三条女性会議への御恩は忘れません。あれから、ずっと、『鮮度一番!』を送り続けてくださっているみなさまに感謝・感謝です。「能」のお話を書かれていた川瀬さんに、もっと教えていただきたいな……。なんて思ったりしていました。

定年退職したものの、現在、青少年教育施設に勤務し、一握りの子どもたちですが、センターに来る子どもたちとふれあうことができ、幸せに思っています。すべての子どもたちがどんな差別にも屈することなく、互いを敬い合い、自他の尊重が当たり前の世の中になっていくまで、私ができることを、できる所ががんばっていききたいものだと思っています。

三条女性会議の益々の発展をずっと祈り続けております。

私が文科省大臣だったら…言っちゃうよ

「いじめ問題は、国の力、法律の知恵では解決は無理

くらしの中で知恵を出し合って、みんなで向き合ってほしいと…」

去年の5月に「いじめ防止対策推進法」が成立した。たまたま、訪れた学校には「めざせいじめゼロスクール」など、いじめ関連ポスターが貼られていた。

しかし、いじめは、国の音頭とり、教師の力でなくなるものだろうか。私は人間である以上、いじめは、我々の日常にはあって当たり前と考えている。しかし、自分達で、そこそこの解決はできるものとも、思っている。私の子ども時代、私が教育現場にいた時には、国はなんにも言ってこなかった。それを、今は国を挙げて、いじめ対策に取り組んでいる。それが、ゆき過ぎると国、行政機関にお任せ状態になって、目の前の問題であってもそれは誰かがやってくれるもの、やってもらえるものと、親も子も認識してしまったら、どんな未来、社会が生まれるのか恐ろしい。

生徒、保護者の日常の会話にこんな対話がほしいと思う。

「おい、それっていじめだよ。やめようよ」

「そうだ。そうだ。カッコワルイよ。やめよう」

「あの先生、ダメ先生かもしれないけど、みんなで文句言うより、ちょっとサポートできないかな」

イジラレ役の担任だった私を、ワルガキ君達から救ってくれたのは、女子グループだった。彼女たちが、お宮さんの境内にワル君たちを呼びつけ「もういいかげんにして…」と迫ったのだという。私は、卒業後何十年もたってから、たまたま、その場に居合わせた体育の先生からこの話を聞いた。

そう、後半、クラスが落ち着き、今は最も同級会が楽しいクラスになった背景にはそんな物語があったのかと、胸が熱くなる。

いじめがあっても、それが思い出の物語になる時間がほしい。

それは、人間関係全てにいえることである。



# 三条活人「詩吟教室」

今回の「三条活人」は三条市在住で詩吟を教えている近藤岳紫さん取材しました。



## プロフィール

近藤岳紫さん 三条市上町出身  
詩吟の指導者を約 40 年。  
三条と新津 で主人と詩吟教場を開催

◆始めたキッカケ◆ おじいさんが詩吟を始めており、皆川歯医者での詩吟教室の見学に誘われ、講師だった国上寺の 先代山田住職がいい声で感動したことが詩吟を始めるキッカケ。習い始めて 10 年位で指導者の資格を取得して、主人と 2 人で三条の集会場で教場を始めました。当時、子供が小さかったがおばあちゃんに理解があり、教場のあるときは子供をみてくれていたので続けられた。現在は三条市内に 4 つの教場と新津に 1 つの教場で教えている。

## 詩吟の魅力

日本と中国には素晴らしい詩や和歌があって、そこに節をつけて歌うのが詩吟です。詩吟は腹式呼吸なので声を通るようになり、歌が上達します。先人の非常に素晴らしい句から、歴史の偉人の心境に触れることができます。子供から高齢者まで続けられ、一生涯の趣味にすることができます。詩吟を通じて子供が礼節を学べます。大会が春・夏・秋に各 1 回あります。

## お問い合わせ

電話：0256-35-8177

## 教場と開催日時

### ◆三条市の教場◆

- ・三ヶ町教場 土曜日 19:00 ~ 20:30 中央公民館隣、いきいきセンター
- ・西明寺教場 土曜日 10:00 ~ 12:00 月岡分館
- ・新光教場 / 三竹教場 水曜日 13:30 ~ 15:00 マルセン隣、興野区民会館 水曜日

### ◆市外の教場◆

- ・新津田家教場 火曜日 10:00 ~ 11:30

### ~~~~~取材感想~~~~~

今回は三条市で詩吟を教えている近藤先生取材しました。一つの事を50年も続けてこられたことにただただ脱帽です。詩吟というものの自体、あまりかわることがない世界だったのですが、腹式呼吸での歌の上達、また、歌詞？がそもそも先人達の残した言葉だということがわかり、詩吟が意外と身近に感じました。生涯に渡る一つの趣味を見つけることは人生の楽しさが全然違ったものになるとご主人に言われ、自分も何か見つけようと思いました。苦手という取材に協力していただき、ありがとうございました。(hiroshi)

## 三条女性会議では随時会員を募集しています

**Q.** 三条女性会議って、どんな団体？

**A.** 女性と男性があらゆる分野で、共に参画し、支え合う社会をつくることを目的に活動している市民活動団体です。

**Q.** どんな活動をしているの？

**A.** はい、次のような活動をしています。

●燕三条エフエム放送で「ワイワイ女性ひろば」を担当(4月～9月)

本放送 毎週木曜日 11:30～12:00 再放送 毎週水曜日 19:30～20:00

●毎月会報「鮮度一番!」の発行やホームページによる広報活動

●その他、男女共同参画社会実現に向けた活動

**Q.** 誰でも入れるの？

**A.** はい。女性だけでなく男性の会員さんも活躍しています。

年会費： ・一般会員 3千円 ・賛助会員 3千円 ・団体会員 1万円

連絡先： 野崎ミチコ Tel 32-3667 / E-mail: info@joseikaigi.net

ホームページアドレス：<http://www.joseikaigi.net>

### ◆会報「鮮度一番!」への投稿を募集しています

「鮮度一番」では、あなたの男女共同参画社会への気づきについての文章を募集しています。一人ひとりが体験した生活での気づきをみんなで共有できたらと願うものです。本名やイニシャルでの掲載、文字数等柔軟に対応致します。

どうぞあなたの声をお寄せ下さい。

《送り先》

●三条女性会議 E-mail: info@joseikaigi.net

●FAX 0256-32-3679

●〒955-0044 三条市田島 2-12-12



編集後記：

「うらを見せ おもてを見せて 散るもみぢ」 良寛さんの句に我が家のもみぢと健さんの死を重ね合わせて眺めております。そんな気持ちをゴチャゴチャにしてくれた解散・選挙の雨あられ。ボヤキたくなりますね。

今号も盛りだくさんの鮮度一番、どうぞ隅から隅までお読みください。  
(原)

編集発行：三条女性会議・代表 野崎ミチコ

連絡先：三条市田島2丁目12-12 Tel 32-3667 FAX 32-3679

ホームページアドレス：<http://www.joseikaigi.net>